



## 取扱説明書

LAN-T256652

ご使用になる前によくお読み下さい。

# LANtest<sup>Pro</sup> Remote Network Cable Tester



最初に  
ご確認  
ください。  
セット  
内容

- 本製品 ..... 1台
- リモートターミネータ ..... 1台
- 単四電池 ..... 4本
- ケーブル(本製品テスト用) ..... 1本
- ポーチ ..... 1個
- 取扱説明書兼保証書(本書) ..... 1部

本取扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧下さい。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。  
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

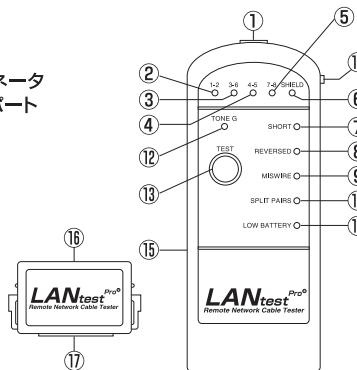
サンワサプライ株式会社

## 特長

- ケーブルの結線状態はケーブル長、結線(ショート・断線・結線ミス)、ペア配線の整合性をLEDでチェック可能です。
- 子機が取り外し可能なので敷設済みのケーブルも容易にチェックできます。
- プローブでの識別のための信号発生機能(トーンジェネレータ)内蔵。ネットワーク工事には欠かせないテスターです。

## 各部名称とはたらき

- ①RJ-45ジャック
- ②ペア1-2インジケーター
- ③ペア3-6インジケーター
- ④ペア4-5インジケーター
- ⑤ペア7-8インジケーター
- ⑥SHIELDインジケーター
- ⑦SHORT(ショート時に点灯します)
- ⑧REVERSE(クロス結線の時に点灯します)
- ⑨MISWIRE(結線ミスの時に点灯します)
- ⑩SPLIT PAIRS(ペア割れの時に点灯します)
- ⑪LOW BATTERY(バッテリ容量低下の時に点灯します)
- ⑫TONE.G(トーンジェネレータ送出中に点灯します)
- ⑬TESTボタン
- ⑭電源スイッチ
- ⑮電池カバー
- ⑯リモートターミネータ
- ⑰リモートテストポート



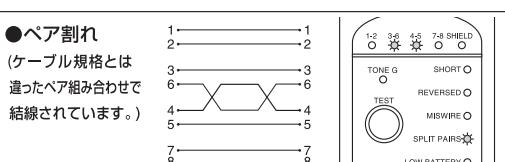
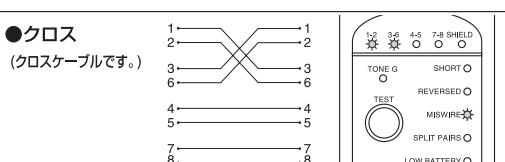
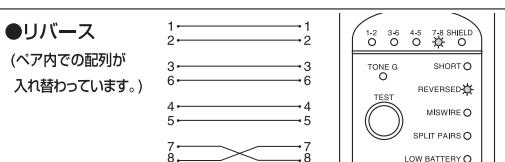
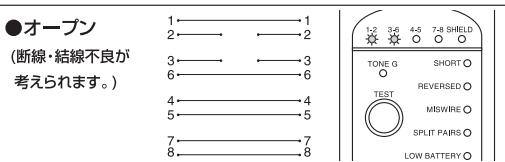
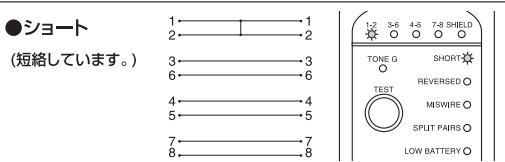
## 機能

- ツイストペアケーブルのオープン・ショート・リバース・クロス・スプリットなどの障害を簡単にチェックできます。
- スプリットペアは、最短40cmのケーブルで検知可能です。
- シールドについても導通をチェックできます。
- リモートターミネータ付属で、すでに敷設済みのケーブルも一人でチェック可能です。
- わかりやすいLED表示。
- 障害の詳細を調べるデバッグモード付き。
- 電池の消耗を防ぐオートスリープ、オート電源オフ機能付き。
- 電池の容量が少なくなったらインジケーターでお知らせします。

## 主な仕様

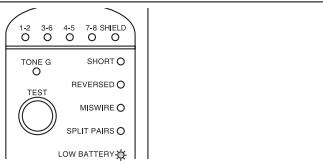
- コネクタ:本体、リモートターミネータともにRJ-45×1ずつ
- テストするペア:1/2、3/6、4/5、7/8、シールド
- LED:緑→1-2、3-6、4-5、7-8、シールド  
赤→オープン、ショート、リバース、クロス、  
スプリットペア、電源残量警告
- テスト可能なケーブル長:最短40cm、最長200m
- 電源:単4電池×4本、リモートターミネータは電源不要  
※製品に付属している電池はテスト用のため、すぐに切れることがあります。

## 表示例



## 表示例（続き）

### ●電源残量警告



## テスト方法

- ①本体右側にあるスライドスイッチを“Cable”に合わせます。
- ②テストするケーブルの両端を、それぞれ本体とリモートターミネータのRJ-45ジャックに挿し込んでください。
- ③TESTボタンを押し、放します。結果が表示されます。
  - a.まず水平方向に並んだ緑のLEDを見てください。それぞれ以下のよう意味を表します。
    - ・点灯:異常ありません
    - ・点滅:異常があります
    - ・消灯:結線されていません
  - b.次に、垂直方向に並んだ赤いLEDを見てください。それぞれ問題があれば点灯します。
- ④TESTボタンを2秒以上押したままにすると、詳細な結果を表示するデバッグモードになります。
- ⑤テストが終了したら電源を切っておいてください。

## トーンジェネレータとは

トーンジェネレータはケーブルに特殊な信号を出し、それを受信機(プローブ)で探ることにより、特定のケーブルの位置を識別する機能です。

- 壁の中に敷設されたケーブルの位置を認識できます。
- パッチパネル施工時等、束になり目的の1本を探しにくい場合にもすぐに見つける事ができます。

ほとんどのプローブは信号を音声として出力します。したがって音声の大きさによって目的のケーブルからの距離を推し測ることができます。

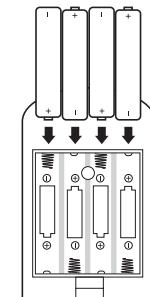
## トーンジェネレータの使用法

- ①本体右側にあるスライドスイッチを“TONE”に合わせます。
  - ②テストするケーブルの一方を、本体のRJ-45ジャックに挿し込みます。パッチコードの一方を本体のRJ-45ジャックにさし、もう一方をパッチパネルのジャックに挿し込んでください。
  - ③検査をします。
    - a.シングルトーン:TESTボタンを軽く押し、すぐ放してください。
    - b.デュアルトーン:TESTボタンを2秒間押したままにしてください。
  - ④プローブなどケーブルをトレースするものを使ってください。テストしているケーブルの近くで、信号強度が最大になるはずです。
  - ⑤テストが終わったら、本体右にあるスイッチをOFFにしてください。
- ※トーンジェネレータテストをする場合は、弊社製LAN-T256712などを使ってください。本製品には含まれていません。

## 乾電池の交換

LOW BATTERYインジケーターが点灯すると、乾電池が消耗しています。正常なテストが行えませんので、下図に従って乾電池を交換してください。

\*単四電池を4本ご使用ください。また極性を間違えて使用すると大変危険です。ご注意ください。



## 警告

- ①本製品の故障の原因となりますので、ネットワークで使用中のケーブルに対してテストを行わないでください。
- ②高周波が発生している付近では、正常なテスト結果が出ない場合があります。
- ③故障の原因となりますので、本製品を落下させたりしないでください。
- ④本製品を多湿な場所や直射日光の当たる場所に放置しないでください。
- ⑤本製品を分解しないでください。故障と思われる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。